



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社 バナーズ
コード番号 3011 URL <https://www.banners.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 由佳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大内 修

TEL 048-523-2018

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日

配当支払開始予定日

2024年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,684	8.1	272	28.1	242	26.0	184	18.2
2023年3月期	4,335	10.5	212	22.0	192	31.6	155	10.5

(注) 包括利益 2024年3月期 187百万円 (17.6%) 2023年3月期 159百万円 (10.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	11.98		7.5	2.7	5.8
2023年3月期	9.78		6.6	2.1	4.9

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	8,702	2,490	28.4	161.31
2023年3月期	9,043	2,448	26.9	152.66

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,470百万円 2023年3月期 2,430百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	65	111	497	750
2023年3月期	334	171	258	1,294

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期				4.00	4.00	63	40.9	2.7
2024年3月期				4.00	4.00	61	33.4	2.5
2025年3月期(予想)				5.00	5.00			

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,784	2.1	265	2.6	238	1.6	185	0.5	12.04

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	20,236,086 株	2023年3月期	20,236,086 株
期末自己株式数	2024年3月期	4,922,752 株	2023年3月期	4,312,148 株
期中平均株式数	2024年3月期	15,364,462 株	2023年3月期	15,924,086 株

(参考)個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	472	1.6	169	12.9	145	10.2	124	7.2
2023年3月期	464	3.4	150	1.7	132	0.8	115	2.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	8.09	
2023年3月期	7.28	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	7,107	2,169	30.5	141.69
2023年3月期	7,159	2,190	30.6	137.56

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,169百万円 2023年3月期 2,190百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	481	1.9	157	8.3	133	7.3	8.68

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が第5類相当に引き下げられたこと等により日常生活を取り戻しつつあり、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続く一方で、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等の海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクや、物価上昇、金融資本市場の変動等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした事業活動を推進いたしました。

不動産利用事業におきましては、埼玉県本庄市の既存物件の再開発を継続するとともに、新たに群馬県高崎市新町に賃貸用の土地を取得して2023年11月30日より賃貸を開始いたしました。今後も引き続き不動産市況や金利動向を考え合わせ、地域に根ざした成長性や資産性の見込める優良物件の取得に向けて、積極的に取り組んでまいります。

自動車販売事業におきましては、引き続きサービススタッフの資格取得を推進しております。また、車点検入庫や部品用品の販売を強化して基盤収益の確保に努めました。営業部門では、残価型クレジット勉強会や任意保険獲得研修を行い幅広いサービスに対応できるスタッフの育成を展開しております。資金繰りの観点から、頭金回収の徹底や残価型クレジットの推奨に注力しました。

楽器販売事業におきましては、世界的な物価上昇や円安の影響による販売商品の値上げ実施に対して来店客数が落ち込むこともなく、本年4月の価格改定予定を目前にした駆け込み需要もみられ、楽器の売上が増加しました。また、演奏会やコンクール及び学校の部活動や市民団体の活動等も活発に行われ、楽器本体に加え消耗材であるリード及びリード製作関連商品の需要の増加傾向もみられました。更なる売上増加を図るため、万全なウイルス感染対策を継続するとともに独自イベントの開催やキャンペーンを実施し、インターネットやSNSを活用した宣伝活動の頻度向上にも努めました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高4,684百万円（前年同期比108.1%）、営業利益272百万円（同128.1%）、経常利益242百万円（同126.0%）、親会社株主に帰属する当期純利益184百万円（同118.2%）となりました。

[セグメントの概況]

(不動産利用事業)

売上高は410百万円（前年同期比101.8%）、セグメント利益は290百万円（同110.7%）となりました。

(自動車販売事業)

売上高は3,765百万円（前年同期比108.7%）、セグメント利益は74百万円（同188.5%）となりました。

(楽器販売事業)

売上高は509百万円（前年同期比108.8%）、セグメント利益は29百万円（同127.8%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末比341百万円減の8,702百万円となりました。流動資産は793百万円減少し、1,758百万円となりました。固定資産は452百万円増加し、6,944百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末比383百万円減の6,212百万円となりました。流動負債は329百万円減少し、1,262百万円となりました。固定負債は54百万円減少し、4,949百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末比42百万円増の2,490百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ543百万円減少し、750百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって獲得した資金は、65百万円（前年同期は334百万円の獲得）となりました。これは主に棚卸資産の増加額288百万円があった一方で、税金等調整前当期純利益236百万円の計上や減価償却費185百万円の計上があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、111百万円（前年同期は171百万円の使用）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入114百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出237百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は、497百万円（前年同期は258百万円の使用）となりました。これは主に長期借入による収入220百万円があった一方で、短期借入金の減少額300百万円や長期借入金の返済による支出269百万円があったためであります。

(4) 今後の見通し

翌連結会計年度（2025年3月期）の連結業績の見通しにつきましては、売上高4,784百万円（前年同期比102.1%）、営業利益265百万円（同97.4%）、経常利益238百万円（同98.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益185百万円（同100.5%）を見込んでおります。

(注) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、そのためには中長期的な視野に基づいた企業価値の増大が欠かせないものと考えております。配当の決定に当たり、安定した配当を継続的に行うことができるよう、将来の事業拡大に必要な内部留保を考慮した上で、業績動向や財務状況等を総合的に勘案し判断しております。

具体的には、連結での配当性向50%以上を目標とし、更なる株主利益の向上を目指し、機動的な自己株式の取得も検討してまいります。

なお、当期の配当につきましては、2024年5月14日開催の取締役会において1株当たり4円00銭とすることを決議しております。

また、2025年3月期の配当につきましては、1株当たり5円00銭を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,423,915	837,377
受取手形及び売掛金	99,096	77,607
商品及び製品	619,761	815,906
原材料及び貯蔵品	4,736	4,573
前渡金	201	47
前払費用	8,976	9,785
1年内回収予定の長期貸付金	380,066	66
その他	17,577	14,925
貸倒引当金	△2,627	△1,918
流動資産合計	2,551,703	1,758,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,145,059	4,147,058
減価償却累計額	△1,892,750	△2,013,396
建物及び構築物(純額)	2,252,309	2,133,662
機械装置及び運搬具	179,581	208,112
減価償却累計額	△100,838	△89,380
機械装置及び運搬具(純額)	78,743	118,731
工具、器具及び備品	80,072	82,683
減価償却累計額	△56,773	△61,233
工具、器具及び備品(純額)	23,298	21,450
土地	4,027,400	4,255,896
リース資産	16,929	17,046
減価償却累計額	△9,193	△9,123
リース資産(純額)	7,736	7,922
建設仮勘定	485	2,575
有形固定資産合計	6,389,973	6,540,240
無形固定資産	2,833	2,634
投資その他の資産		
投資有価証券	1,502	1,502
長期貸付金	7,339	302,273
繰延税金資産	74,780	81,390
その他	26,999	27,395
貸倒引当金	△11,269	△11,269
投資その他の資産合計	99,352	401,292
固定資産合計	6,492,158	6,944,167
資産合計	9,043,862	8,702,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	261,443	270,891
短期借入金	600,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	225,766	185,438
1年内返還予定の預り保証金	56,189	56,800
未払金	16,206	23,823
未払費用	29,682	32,024
未払法人税等	37,747	36,827
未払消費税等	34,751	13,684
賞与引当金	14,431	18,477
前受金	296,088	300,773
その他	19,339	23,581
流動負債合計	1,591,646	1,262,321
固定負債		
長期借入金	2,800,672	2,791,770
役員退職慰労引当金	16,133	18,575
退職給付に係る負債	116,289	127,437
預り保証金	1,258,967	1,206,966
長期前受収益	86,352	80,097
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	7,434	6,660
固定負債合計	5,004,029	4,949,687
負債合計	6,595,675	6,212,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,022	576,022
利益剰余金	656,558	776,931
自己株式	△748,590	△829,802
株主資本合計	791,361	830,522
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	17,223	20,405
純資産合計	2,448,186	2,490,529
負債純資産合計	9,043,862	8,702,538

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高		
製品及び商品売上高	3,932,310	4,274,394
不動産利用収入	403,005	410,410
売上高合計	4,335,315	4,684,804
売上原価		
製品及び商品売上原価	3,130,880	3,399,079
不動産利用経費	180,372	161,028
売上原価合計	3,311,252	3,560,107
売上総利益	1,024,063	1,124,697
販売費及び一般管理費		
役員報酬	45,750	56,619
給料及び手当	294,128	293,340
賞与	25,540	26,008
賞与引当金繰入額	8,550	8,676
役員退職慰労引当金繰入額	2,658	2,442
退職給付費用	11,448	14,024
貸倒引当金繰入額	580	△709
法定福利費	52,900	56,820
旅費及び交通費	6,193	7,514
福利厚生費	1,533	2,701
広告宣伝費	44,065	49,726
消耗品費	16,938	18,012
租税公課	13,466	14,738
交際費	2,057	2,112
賃借料	40,745	43,535
減価償却費	83,359	80,379
株式取扱手数料	11,496	12,160
支払手数料	44,813	54,679
その他の経費	105,214	109,465
販売費及び一般管理費合計	811,441	852,251
営業利益	212,622	272,445
営業外収益		
受取利息	5,710	4,684
受取配当金	66	59
その他	11,167	3,390
営業外収益合計	16,944	8,134
営業外費用		
支払利息	33,721	32,478
その他	3,152	5,392
営業外費用合計	36,873	37,870
経常利益	192,692	242,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別損失		
役員退職慰労金	—	6,630
特別損失合計	—	6,630
税金等調整前当期純利益	192,692	236,079
法人税、住民税及び事業税	41,321	55,438
法人税等調整額	△7,877	△6,610
法人税等合計	33,444	48,828
当期純利益	159,247	187,250
非支配株主に帰属する当期純利益	3,465	3,181
親会社株主に帰属する当期純利益	155,781	184,068

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	159,247	187,250
包括利益	159,247	187,250
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	155,781	184,068
非支配株主に係る包括利益	3,465	3,181

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	307,370	576,022	548,549	△748,550	683,391
当期変動額					
剰余金の配当			△47,772		△47,772
親会社株主に帰属する当期純利益			155,781		155,781
自己株式の取得				△39	△39
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	108,009	△39	107,970
当期末残高	307,370	576,022	656,558	△748,590	791,361

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,639,601	1,639,601	13,757	2,336,750
当期変動額				
剰余金の配当				△47,772
親会社株主に帰属する当期純利益				155,781
自己株式の取得				△39
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			3,465	3,465
当期変動額合計	—	—	3,465	111,436
当期末残高	1,639,601	1,639,601	17,223	2,448,186

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	307,370	576,022	656,558	△748,590	791,361
当期変動額					
剰余金の配当			△63,695		△63,695
親会社株主に帰属する当期純利益			184,068		184,068
自己株式の取得				△81,212	△81,212
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	120,373	△81,212	39,160
当期末残高	307,370	576,022	776,931	△829,802	830,522

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,639,601	1,639,601	17,223	2,448,186
当期変動額				
剰余金の配当				△63,695
親会社株主に帰属する当期純利益				184,068
自己株式の取得				△81,212
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			3,181	3,181
当期変動額合計	—	—	3,181	42,342
当期末残高	1,639,601	1,639,601	20,405	2,490,529

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	192,692	236,079
減価償却費	189,342	185,634
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,636	11,147
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,056	2,442
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	580	△709
賞与引当金の増減額 (△は減少)	671	4,046
受取利息及び受取配当金	△5,777	△4,743
支払利息	33,721	32,478
役員退職慰労金	—	6,630
売上債権の増減額 (△は増加)	602	26,174
棚卸資産の増減額 (△は増加)	8,390	△288,545
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,907	9,447
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△5,339
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,737	△21,067
預り保証金の増減額 (△は減少)	△57,184	△58,457
その他の資産・負債の増減額	△6,862	13,558
小計	371,928	148,777
利息及び配当金の受取額	5,777	4,418
利息の支払額	△26,198	△25,162
役員退職慰労金の支払額	—	△6,630
法人税等の支払額	△16,663	△55,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	334,843	65,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△68,201	△73,200
定期預金の払戻による収入	66,000	114,001
有形固定資産の取得による支出	△169,108	△237,489
貸付金の回収による収入	66	85,066
その他の支出	△370	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,613	△111,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△300,000
長期借入れによる収入	70,000	220,000
長期借入金の返済による支出	△276,870	△269,230
自己株式の取得による支出	△39	△81,212
配当金の支払額	△47,524	△63,261
リース債務の返済による支出	△3,607	△3,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,041	△497,246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△94,811	△543,537
現金及び現金同等物の期首残高	1,389,239	1,294,427
現金及び現金同等物の期末残高	1,294,427	750,890

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数 3社

連結子会社名

株式会社ホンダニュー埼玉

日本ダブルリード株式会社

株式会社ルボア

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

すべての連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

その他有価証券

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法によっております。

②棚卸資産

商品及び製品、原材料及び貯蔵品

主として個別法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっております。

なお、一部の商品及び製品については総平均法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。なお、耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 2～45年

機械装置及び運搬具 2～17年

工具、器具及び備品 2～20年

②無形固定資産

その他の無形固定資産

定額法によっております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

(イ) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(ロ) 賞与引当金

従業員の賞与金の支給に備えるため、支給見込額基準により算出した当連結会計年度の負担すべき金額を計上しております。

(ハ) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当連結会計年度末における要支給額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

当社及び連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

連結子会社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。

①自動車販売事業

自動車販売事業においては、主にホンダ車の販売・整備並びに保険の販売を行っております。自動車の販売は顧客に商品を引き渡した時点で、自動車の整備は顧客による検収が完了した時点で、保険の販売は保険会社から手数料を収受すべき時点で、それぞれ収益を認識しております。

②楽器販売事業

楽器販売事業においては、主に楽器の輸入・販売・修理を行っております。楽器の販売は顧客に商品を引き渡した時点で、楽器の修理は顧客による検収が完了した時点で、それぞれ収益を認識しております。ただし、楽器の販売のうち国内販売の一部については出荷時点で収益を認識しております。

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなります。

(7) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社（株式会社パナース）の不動産利用事業と連結子会社（株式会社ホンダニュー埼玉・日本ダブルリード株式会社・株式会社ルボア）の自動車販売事業及び楽器販売事業の3つを報告セグメントとしております。

不動産利用事業では、土地・建物並びに駐車場の賃貸を行っております。

自動車販売事業では、ホンダ車の販売・整備並びに保険の販売を行っております。

楽器販売事業では、楽器の輸入・販売・修理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	403,005	3,464,351	467,958	4,335,315	—	4,335,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,680	125	—	61,805	△61,805	—
計	464,685	3,464,476	467,958	4,397,121	△61,805	4,335,315
セグメント利益	262,497	39,429	23,060	324,987	△112,365	※1 212,622
セグメント資産	6,229,044	644,474	255,086	7,128,605	1,915,257	9,043,862
その他の項目						
減価償却費	117,740	66,671	3,526	187,938	1,404	※2 189,342
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	158,685	121,485	2,436	282,608	—	282,608

(注) セグメント利益の調整額△112,365千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※1 連結損益計算書の営業利益

※2 連結損益計算書の減価償却費と製品及び商品売上原価に含まれる減価償却費と不動産利用経費に含まれる減価償却費分の合計額

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	410,410	3,765,238	509,155	4,684,804	—	4,684,804
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,680	3,583	—	65,263	△65,263	—
計	472,090	3,768,822	509,155	4,750,068	△65,263	4,684,804
セグメント利益	290,479	74,305	29,469	394,254	△121,808	※1 272,445
セグメント資産	6,346,265	802,304	306,818	7,455,388	1,247,149	8,702,538
その他の項目						
減価償却費	116,069	63,707	3,538	183,316	2,318	※2 185,634
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	235,466	205,336	5,011	445,814	△1,545	444,269

(注) セグメント利益の調整額△121,808千円には、セグメント間取引消去△823千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△120,985千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※1 連結損益計算書の営業利益

※2 連結損益計算書の減価償却費と製品及び商品売上原価に含まれる減価償却費と不動産利用経費に含まれる減価償却費分の合計額

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	152円66銭	161円31銭
1株当たり当期純利益	9円78銭	11円98銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	155,781	184,068
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	155,781	184,068
期中平均株式数(千株)	15,924	15,364

(重要な後発事象)

該当事項はありません。